

第3回

学校の働き方改革を踏まえた 部活動改革に関する有識者会議

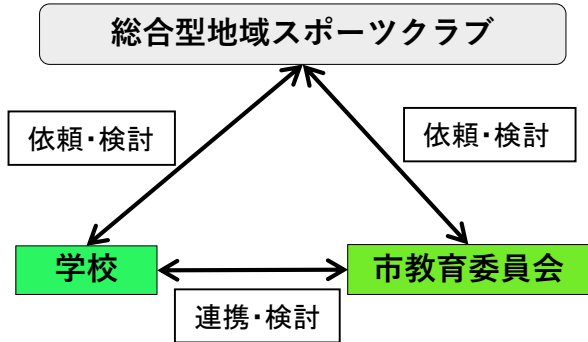
【別添資料】

- 本県の地域部活動実践例
- 他県の部活動改革の例
- フォローアップ調査結果より
- スポーツ少年団の現状

本県の地域部活動実践例

地域移行パターン

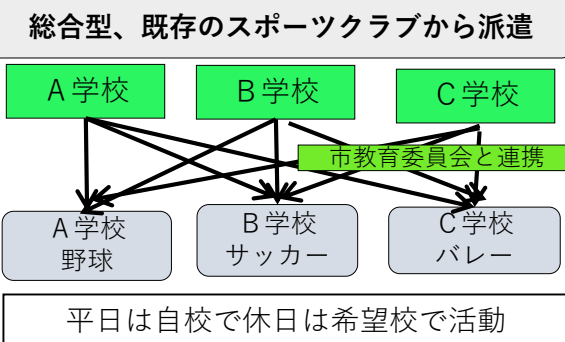
A 総合型スポーツクラブ型中高



- 全部活動スムーズに移行が可能
- 指導者の確保、学校との連携可

- 総合型スポーツクラブの理解・協力が必要
- 指導者、事務局への謝金が高額

B 拠点校型中高

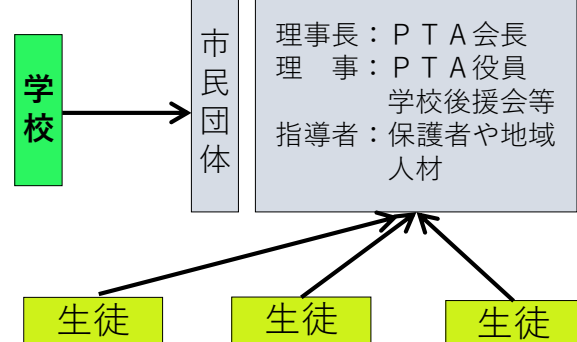


平日は自校で休日は希望校で活動

- 少子化が進む地域に適合
- 中体連は公式戦に参加緩和の方向
- 合同部活動で公式戦に出場可（高：3競技）

- 競技ごとに事務局を設置、兼職・兼業が増
- 平日は、学校単位で活動（集合不可）

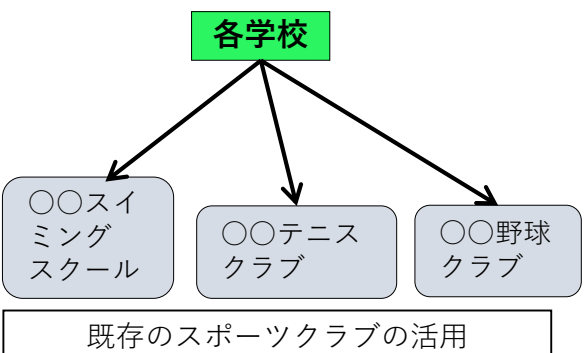
C 学校設立型中



- 公式試合にも学校部活動として参加可
- 受け皿となる団体がない地域でも可能

- 学校の負担増、兼職兼業が増
- 運営体制の維持に課題

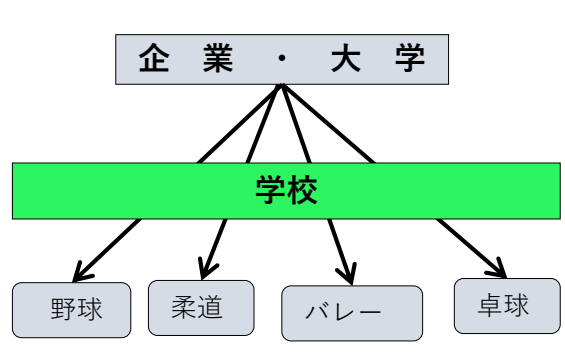
D 単一スポーツクラブ型中高



- 部顧問とクラブ指導者との連携もスムーズ
- 生徒のニーズに応じて活動可

- 各クラブごとの責任、やり過ぎなどに課題
- 多競技になるため、学校との連携が困難

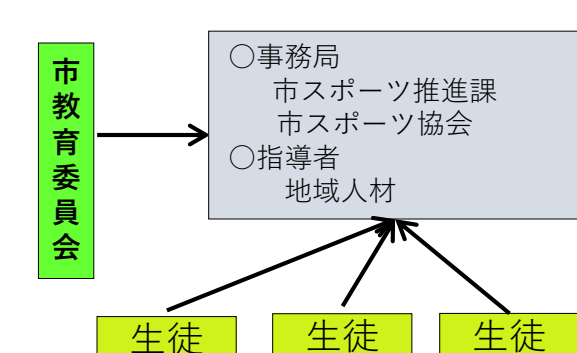
E 企業・大学連携型中高



- 大学生が指導、全部活動に対応
- 指導者の確保が継続的に可能

- 指導経験が浅い。大学生の責任の在り方
- 同じ指導者の継続が困難

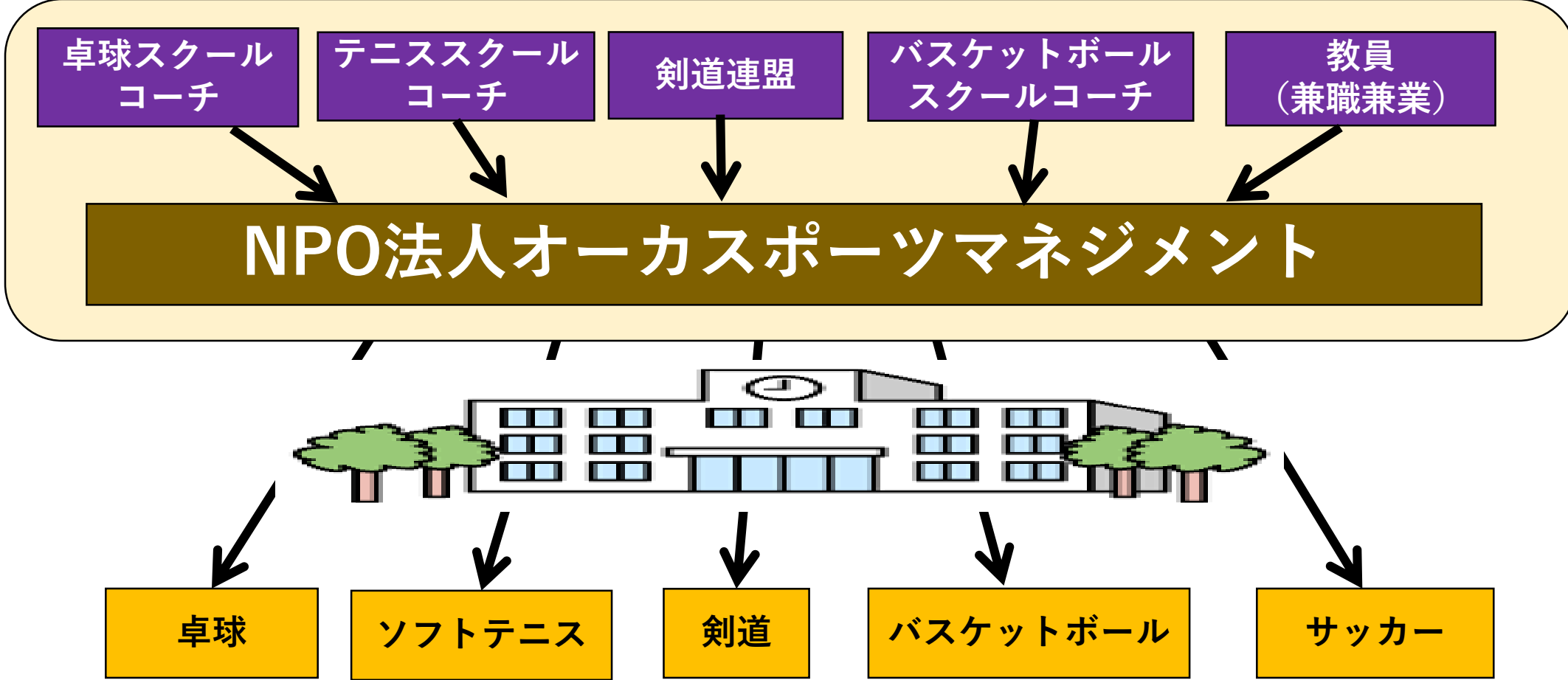
F 行政主導型中



- 少子化が進む地域で可能
- 地域が連携し、全部活動スムーズに移行可

- 市教委の負担増
- 指導者の確保、兼職兼業が増

双葉台中学校による地域部活動の取組 (A 総合型スポーツクラブ型)



活動内容

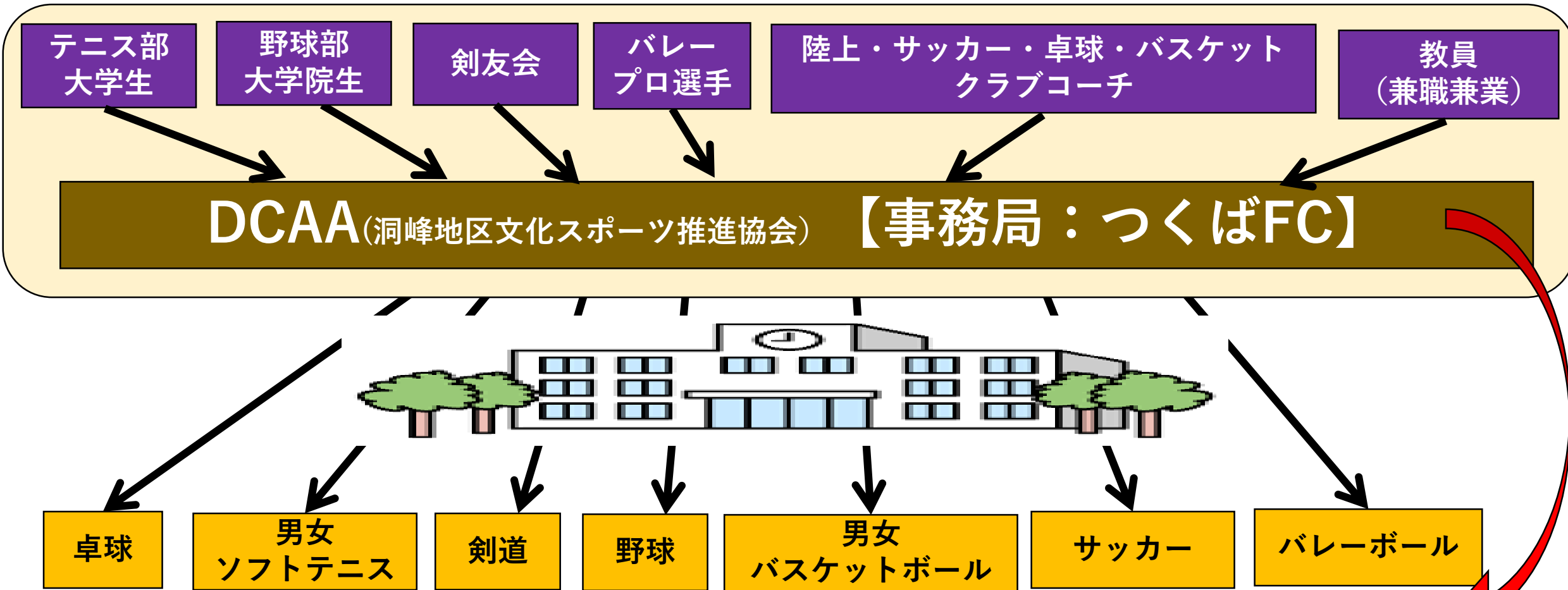
- 運営団体：NPO法人オーカスポーツマネジメント
- 活動日等：土日どちらか週1回程度 指導時間数の上限120時間
- 会費：1,000円/月 (今年度は後援会費で負担)
- 保険：スポーツ安全保険に加入 800円/人

<保護者・地域への説明>

- R3.4 部活動前期代表保護者会
- R3.10 PTA実行委員会、部活動後期代表保護者会
- R3.11 1,2年生部活動保護者会

来年度は、全部活動を地域に移行することが決定

谷田部東中学校による地域部活動の取組（C 学校設立型）



活動内容

- 運営団体：NPO法人つくばフットボールクラブ
- 活動日等：月・木・土・日のいずれか週1回程度 年間35回
- 会費：1,250円/月
- 参加率：202人/336人（運動部員数の60.1%が参加）

【B 拠点校型】

BCつくばEvolution（バスケットクラブ）

- ・参加者：複数の中学校の生徒
- ・場 所：谷田部東中体育館他
- ・会 費：3,300円~5,000円/月
- ・大会参加可・レベル別5コース

県内にある総合型地域スポーツクラブ（茨城県総合型地域スポーツクラブ協議会加盟団体）

◆総合型地域スポーツクラブとは

人々が、身近な地域でスポーツに親しむことができるスポーツクラブで、子供から高齢者まで（**多世代**）、様々なスポーツを愛好する人々（**多種目**）が、初心者からトップレベルまで、それぞれのレベルに合わせて参加できる（**多志向**）、地域住民により運営されるスポーツクラブ。

◆県内36市町村50クラブ（令和3年10月現在）

水戸地区：11、県北地区：5、鹿行地区：5、県南地区21、県西地区：8

◆現状は、小学生、成人、高齢者を対象とした活動がほとんどであるが、**中・高校生を対象とした教室を開催**しているクラブもある。

◆NPO法人クラブ・ドラゴンズ（龍ヶ崎市）

A 総合型スポーツクラブ型・E 企業・大学連携型の融合パターン

出典：NPO法人クラブ・ドラゴンズHPより

《新体操ピンクドラゴンズ》

○新体操教室から選抜されたクラス。**全国大会出場**を目標に、**週5回**の練習。**中体連の試合**(学校から)や**クラブチームの試合**にも多く参加。

・対象：**小1～高3**

・日時：**火・水・木(18:00～21:00)**

土・日 (9:00～16:00)

・**月会費：選手 23,280円、育成 14,560円**

・**場所：流通経済大学スポーツ健康センター
メインアリーナ等**

【特徴】**アスリートクラスを開設・大学との連携**

《Dragons TC》

○**中学校に陸上競技部がないという中学生の受け皿**になるために作られたクラス。自己記録更新を目指す子から**全国大会を目指す子までそれぞれの目標に対応**。

陸上競技部に入部していても入会可能。

・対象：**中学生**

・日時：**月・水・木(18:00～20:00)**

日(ステップクラス)(10:00～12:00)

・**月会費：週3クラス 8,440円、ステップクラス 1,500円**

・**場所：流通経済大学龍ヶ崎フィールド等**

◆東海村総合型地域スポーツクラブ スマイル東海（東海村）

出典：スマイル東海HPより

【特徴】（公財）東海村文化・スポーツ財団が支援 地域密着型

A 総合型スポーツクラブ型

○様々な教室の開催のほか、地域スポーツイベント等も開催する

- ・年会費 新規会員：中・高校生 3,600円、継続会員：中・高校生 3,000円、その他受講料は競技ごとに設定。
- ・地域密着の特徴として、東海村に在住、在学、在勤の方（在勤者の同居家族も含む）を対象とする。
また、法人年会費30,000円（1口）、協賛会費50,000円（1口）を設定。
- ・小学生以下のみを対象とした教室：体操、硬式テニス、ミニバスケットボール、バレーボール、卓球、キッズビクス（エアロビクス）
- ・中・高校生以下を対象とした教室：陸上（中学生以下のみ）、競技エアロビクス
- ・東海スマイルマラソン大会を実施（年1回）
小・中学生が参加するマラソン競技の部、家族で参加する家族の部、小学生、一般で参加する駅伝の部

《ジュニア陸上教室》

○レベルに応じた指導を行い、陸上競技の正しいフォームを学ぶ。

- ・日時：4月～7月の毎週木曜日（全15回／1期）（19：45～20：45）
- ・場所：東海南中学校グラウンド
- ・受講料：7,500円／期
- ・指導者：茨城大学陸上部

《ジュニア陸上教室アスリートクラス》

○陸上の基礎を学びながら競技会への出場を目指す教室。

- ・日時：土・日・祝日（月4回程度）（1回2時間程度）
- ・場所：笠松運動公園ほか
- ・受講料：1,000円／回程度
- ・指導者：元教員

《競技エアロビック教室》

○エアロビックの大会・検定に出場することを目的に、月4日程度練習を行う。

- ・受講料：4,000円（月謝制）
- ・指導者：日本エアロビック連盟テクニカルアドバイザー

【参考】(公財)茨城県サッカー協会による中学生への取組

◆育成いばらき事業

STR (Save The third grade at j.h. Retire:中学3年生引退救済) 事業

【目的】

中学校総合体育大会終了後(6月～7月頃)に引退となった**中学3年生が継続的にサッカーに取り組める場を茨城県サッカー協会が準備**し、高校生年代でのサッカー活動に向けての**レベルアップ**を目指せる環境を整えること、または**サッカーを楽しむ場**を設けることを目的とする。

【協力(指導者派遣等)】

鹿島アントラーズ、水戸ホーリーホック、流通経済大学、筑波大学、FC古河

【対象】**中学3年生(クラブチーム所属選手は除く)**

【会場】**県内6拠点**で実施

- 県北地区 : 諏訪スポーツ広場、折笠スポーツ広場
- 県央地区 : 水戸ツインフィールド、常磐高校、水戸桜ノ牧高校
- 県東地区 : アントラーズクラブハウス
- 県西地区 : 古河第一小学校
- 県南地区① : 流通経済大学
- 県南地区② : つくばアカデミーセンター、セキショウチャレンジスタジアム



提供：茨城県サッカー協会

【回数】**各地区8回(1回2時間程度)**、9月～12月で実施。

【参加料】**1,000円/回** ※令和2年度：延べ**267名**の申し込み

参考

Elite Rugby Academy (ERT)

◆クラブチーム

- 【特徴】
- ・茨城県出身の競技経験者(プロコーチ、トップリーグ経験者、教員)が指導。
 - ・**企業(個人)設立の技術指導型クラブ。**
 - ・**スキルに特化したコーチを週替わりで配置。**ラグビーに必要な基礎な技術を専門的に指導。
メンバー選考やレギュラー争いもないので、個人スキルのレベルアップと何よりも楽しさに特化して活動。

- 【目的】
- ・個人スキルを伸ばすことに主眼、子供たちの自己肯定感、自己効力感を養う。
 - ・小学校のラグビー競技経験者が**中学校に進学しても活動を続けられる**ようにする。

【対象】 **小学4年生～中学3年生**

【会場】 私立水城高校グラウンド

【回数】 **毎週金曜日 19:00～21:00**

【参加料】 **入会費：5,000円 参加費：1,500円／1回**



他県の部活動改革の例

長野県飯田市では → E 企業大学連携型、F 行政主導型の融合型

○全市型競技別スポーツスクールの設立

- ・市内全9中学校の生徒15競技を対象としたスポーツスクールを開設
- ・10月～3月に活動 平日19:30～21:00
- ・**1回500円**（参加者支払）
- ・主体性と多様な**スポーツニーズに対応**

○筑波大学アスレチックデパートメントと**協定を締結**

- ・明確な根拠に基づいた部活動改革
- ・学術的サポート体制の構築

○オフ期間（11月～1月）の導入

- ・冬季間の中学校**部活動をオフ**にする「ジン・チャレンジ期間」の導入

沖縄県うるま市では→ E 企業大学連携型、F 行政主導型の融合型

○民間企業・団体と連携した「地域部活動」の設置

- ・自治体×スポーツデータバンク沖縄が中心となり、自治体主導のスポーツクラブを発足
- ・市全体の部活動の受け皿にするとともに、地域企業とも連携して、**収益の多様化・確保**を模索

○企業協賛型部活動支援モデルの構築

- ・市内9校26部活動（市内10校離島含む）への外部支援を実施
- ・学校での練習のみ単独で指導 引率は無し
- ・年間96時間
- ・**指導者謝金1回4,000円**

岐阜県羽島市では → C 学校設立型

○はしまなごみスポーツクラブの設置

- ・ 学校の休日部活動を地域クラブへ移行
- ・ 保険、入会金 **年間6,900円**
- ・ 土日、祝日に活動
- ・ 平日は、学校で顧問教員が指導
- ・ 教員の兼職・兼業も可

○**学校と地域のスポーツクラブが融合**したスポーツ環境の確保

- ・ 生徒の選択肢が増える
- ・ 専門家による質の高い指導が継続的
- ・ 教職員の働き方改革

埼玉県白岡市では → F 行政主導型

- 白岡市が**委託団体**「A S K（アスク）」を設立
 - ・外部指導者がA S Kに指導者として登録
 - ・A S Kから指導者に謝金（報酬）
- 市内4中学校の運動部・文化部の10の部活動を対象
 - ・**A S Kが市教委、学校と連絡調整**
 - ・活動は、週末1回
 - ・顧問教員の兼職・兼業も可
 - ・令和5年度には全ての部活動で実施予定

神奈川県立平塚工科高校ラグビー部のクラブ化 → C 学校設立型

高校ラグビー部が母体となったクラブチームを設立。部員数や個人の実力にかかわらず、すべての部員が存分に試合を楽しむことができる環境づくりを目的とし、『勝利至上主義、補欠文化からの脱却』を目指す。

- クラブチーム「湘南アルタイルズ」の設立（R3春）部顧問が発案し実現
 - ・学校外の高校生(外部生)も加入可（地域不問、高校生が対象、参加無料）
 - ・練習は週3回（個人の状況で回数減も可）
 - ・外部生は高体連主催大会には出場不可
 - ・外部生は練習試合や公式戦には出場可
- 「KCリーグ」（独立リーグ）の発足 KC：KANAGAWA Camaraderie-League
 - ・県内のノーシード校33校のうち23校がエントリー
 - ・1試合内で部員全員の出場を義務付け
 - ・チームの最終順位をつけない
 - ・チーム間の選手の貸し借り自由

フォローアップ調査結果より

【中学校管理職への質問】（第2回会議「別添資料」P1 - 5参照）

(1) 地域移行を図ることについて
地域移行を図る場合について
地域部活動の費用負担について

(2) 貴校は、どのような移行のパターンが考えられるか

【高等学校管理職への質問】（第2回会議「別添資料」P3 - 5参照）

(3) 地域移行を想定した場合、どのような指導体制が望ましいと考えられるか

(1) フォローアップの調査結果

(令和3年11月1日 現在)

管理職アンケート質問	回答	中学校 227校
地域移行を図ることについて	実施している	3.1%(7校)
	学校内で検討を始めている	15.0%(34校)
	次年度以降、実施に向けて検討する予定	74.4%(169校)
	その他	7.5%(17校)
地域移行を図る場合について	全ての部活動を地域に移行したい	20.3%(46校)
	一部の部活動のみ地域に移行したい	4.8%(11校)
	一部の部活動から全部活動を移行したい	73.1%(166校)
	その他	1.8%(4校)
地域部活動の費用負担について	保護者が負担する	48.9%(111校)
	公費負担で補助する	44.5%(105校)
	その他	6.6%(15校)

(2) フォローアップの調査結果

(令和3年11月1日 現在)

管理職アンケート質問	回答	中学校 227校
貴校は、どのような移行の パターンが考えられるか	総合型スポーツクラブ型	15.4%(35校)
	拠点校型	27.8%(63校)
	学校設立型	4.4%(10校)
	単一スポーツクラブ型	4.8%(11校)
	企業・大学連携型	4.8%(11校)
	行政主導型	41.0%(93校)
	その他	1.8%(4校)

(3) フォローアップの調査結果

(令和3年11月1日 現在)

管理職アンケート質問	回答	高等学校 96校
地域移行を想定した場合、 どのような指導体制が 望ましいと考えられるか	総合型スポーツクラブ、既存のスポーツクラブ等に委託	47.8%(54校)
	専門的指導者のいる学校を拠点校とし、休日の活動を拠点校で実施	26.5%(30校)
	学校ごとにクラブを設立し、休日はクラブとして活動	24.8%(28校)
	その他	1.8%(2校)

スポーツ少年団の現状

○スポーツ少年団について

○本県における令和3年度スポーツ少年団登録状況

○本県における令和3年度 スポーツ少年団活動種目数
(25種目及びその他)

○本県における令和3年度スポーツ少年団登録人数の状況
(ベスト10)

◆スポーツ少年団について

- ・スポーツ少年団は、完全なメンバーシップ制をとっている組織で有料登録制。
- ・茨城県スポーツ少年団に加入するためには、登録手続きが必要。

登録料：年間 団員が500円、指導者が1,000円

○単位スポーツ少年団の登録の条件

→「原則として団員10名以上、指導者2名以上で構成すること」に加え、下記2つの条件を全て満たすことが登録の条件となる。

①20歳以上の「指導者」、「役員」または「スタッフ」の2名以上の登録が必要。

→子どもを預かることの責任の観点から、成人（20歳以上）の複数名配置を必須とする。

②2名以上の指導者が「スポーツ少年団の理念」を学んでいることが必要

→「スポーツ少年団の理念」の普及、「理念」に沿った活動を行うために、「理念」を学んだ指導者の複数名配置を必須とする。

※理念を学んだものとは＝2019年度スポーツ少年団認定員成員

＝2019年度スポーツ少年団認定員

＝スタートコーチ（スポーツ少年団）資格保有者（2020年度開始）

○日本スポーツ協会公認の資格が必要

- ・1日の講習会を受講・修了⇒スタートコーチ（スポーツ少年団）の資格を取得することが可能。

受講料4,000円

資格登録料：初期登録手数料3,000円、4年間で10,000円（資格有効期間4年間）

◆本県における令和3年度スポーツ少年団登録状況

(令和3年11月29日現在)

	市町村数	団数 (団)	団員数 (名)	指導者数 (名)	有資格指導者数	団員・指導者合計
R1	44	1,295 (3位)	29,507 (3位)	8,224 (3位)	5,340 (64.9%)	37,731 (3位)
R2	44	1,247 (3位)	26,127 (3位)	7,217 (3位)	4,738 (3位)	33,344 (3位)
R3	44	1,218 (3位)	26,003 (3位)	6,818 (3位)	4,262 (3位)	32,821 (3位)
前年度比較		-29	-124	-399	-476	-523

※団員数全国順位：1位 埼玉県 2位 北海道 3位 茨城県 4位 静岡 5位 宮城

【参考】全国の団員の年齢構成（令和2年度スポーツ少年団育成報告書より：日本スポーツ協会）
 3歳以上の未就学児：0.8% 小学生：85.9% 中学生：11.9% 高校生以上：1.4%

◆本県における令和3年度 スポーツ少年団活動種目数（25種目及びその他）

No.	活動種目	団数	No.	活動種目	団数	No.	活動種目	団数
1	軟式野球	199	10	ソフトボール	16	19	陸上競技	10
2	サッカー	222	11	ソフトテニス	26	20	ハンドボール	7
3	バスケットボール	209	12	少林寺拳法	19	21	合気道	6
4	剣道	116	13	卓球	9	22	ドッジボール	12
5	複合	40	14	硬式野球	7	23	相撲	2
6	バレーボール	85	15	競泳	7	24	ゴルフ	3
7	空手道	77	16	テニス	8	25	ボウリング	4
8	柔道	52	17	レスリング	6	26	その他	29
9	バドミントン	44	18	器械体操	3		合計	1,218

*複合：年間を通して複数の種目等を実施

*その他：スポーツチャンバラ、ボート、ホッケー、フェンシング、ローラースケート、ラグビーフットボール、弓道、アルペンスキー、アイスホッケー、トランポリン、ソフトバレーボール、スピードスケート、水球、飛込み、新体操、リーダー会等

◆本県における令和3年度スポーツ少年団登録人数の状況（ベスト10）

順位	競技	男子（人）	女子（人）	合計（人）	割合（%）
1	サッカー	6,083	554	6,617	25.4
2	バスケットボール	1,640	2,363	4,003	15.4
3	軟式野球	3,486	296	3,782	14.5
4	剣道	1,230	648	1,878	7.2
5	空手道	882	441	1,323	5.1
6	複合	667	396	1,063	4.1
7	バレーボール	286	853	1,139	4.4
8	陸上競技	521	451	972	3.7
9	バドミントン	267	575	842	3.2
10	柔道	579	239	818	3.1

注：あくまでも、少年団登録している競技者数であり、スイミングスクールや公式野球等のクラブチームで活動している競技者等は含まれていない。